

映画 ピロスmani

Пирсmani



1969年/グルジアフィルム/カラー/87分/監督・脚本：ゲオルギー・シェンゲラーヤ/脚本：エルロム・アフヴェジアーニ
/撮影：コンスタンチン・アプリアチン/音楽：V・クヒアニーゼ/主演・美術：アフタンジル・ワラジ/
出演：アツラ・ミンチン、ニコ・セトゥリーゼ

革命の胎動が微かに響くグルジア。孤高の天才画家ニコ・ピロスmaniは片田舎に住み、居酒屋や食堂の壁にかける絵を製作し細々と暮らしていた。ある日、その地に赴いた画家によりロシア中央画壇に紹介された彼はモスクワへ向かうが、権威主義的な美術界の冷遇を受け、失意のまま帰郷。傷心を抱えつつ自分や同胞のためのみに絵筆をとる生活を続け、ひっそりと世を去る。ルソーにも匹敵するナイーブ派画家として今でこそ評価の高いピロスmaniの、簡素にして清廉な生き方をつとめてクールなタッチで捉えたグルジア映画らしい素直な好篇。1974年シカゴ国際映画祭ゴールデン・ヒューゴ賞、1978年キネマ旬報ベストテン4位、1979年芸術祭優秀賞他受賞多数。

一貧しい画家のかなわぬ恋ー「貧しい絵かきが女優に恋をした」。あなたも一度くらいはカラオケで歌ったことがあるかもしれない。加藤登紀子さんが1986年に出したヒット曲「百万本のバラ」に出てくる女優が、このマルガリータだ。絵かきとは、くっきりとした輪郭と単純な色彩でグルジアの風物を詩情ゆたかに描いた放浪の画家ニコ・ピロスmani (1862-1918) である。朝日新聞 (2008. 11/1) うたの旅人・加藤登紀子「百万本のバラ」



ピロスmaniの
「女優マルガリータ」

上映会 7/12 (日) 15:00~ 作品上映後
参加費 500円 (資料代含む) 日本ユーラシア協会宮城県連合会事務局長
移川仁さんの解説付

仙台国際センター 1階研修室 仙台市青葉区青葉山 TEL022-265-2211

主催 日本ユーラシア協会宮城県連合会 共催 右岸の羊座 問い合わせ 070-5326-1974 大越まで

ロシア映画を研究する会「キノエクラン КИНОЭКРАН」では、解説をまじえながら、ロシア映画の面白さに触れる映画会を定期的に開催しています。会員を募集しています！問い合わせ下さい。

巨匠・黒澤明監督が、敬愛するロシアの文豪
ドストエフスキーの原作「白痴」を、森雅之、
三船敏郎、原節子という豪華キャストで映画化。

白痴



1951年/松竹/166分
監督・脚本：黒澤明
脚本：久板栄二郎
原作：ドストエフスキー
撮影：生方敏夫 美術：松山崇
音楽：早坂文雄
出演：森雅之、三船敏郎、原節子、
志村喬、東山千栄子、久我美子

これは世界的文豪ドストエフスキーの作品中、最も芸術的香り高い名作の映画化
であって、日本映画の真価を世界に問う第一作である。真に美しい善意の人、亀田
欽司を中心に汚濁に満ちた人間社会の虚栄心 欲望 嫉妬 愛が・・・この主人
公のガラスの様に透明で仔羊の様に純真な善意に満ちた心にふれて、どの様に変化
して行くか。吹雪の音と雪と氷に閉された世界を背景に妙子、綾子をめぐり、妖し
くも悲しい恋物語となって、事件が展開する。 「白痴」冒頭タイトルより

14:00

講演：白井佳夫 「黒澤明 人と作品」



しらいよしお 1932年生まれ。映画評論家。早大卒業と同時に「キネマ旬報」に入社、編集部員10年を経て編集長となる。映画評論に文化論的視点を取り入れ、また若手批評家を育て、論争を起し、映画ジャーナルを活性化させる。日本映画・外国映画の双方に広く目配りするとともに、特に白黒時代の邦画の評価に力を入れる。東武カルチャースクールで「白井佳夫の映画村」、阿佐ヶ谷市民講座では「講演と朗読と映像によるトークショー」を開催。「無法松の一生」を使ったパフォーマンス公演は現在全国巡演中。著書に「二十四時間の映画」「黒白映像日本映画礼讃」など。2004年文化庁映画賞受賞。



©1951 松竹株式会社

平成27年度 青葉区まちづくり活動助成事業 主催 青葉の杜の映画祭

7/5 (日) ① 11:00 ② 15:30

*上映会場が桜井薬局セントラルホールから変更になりました

会場 NPO法人 シニアネット仙台「一番町サロン」

仙台市青葉区一番町2-5-12 東一番町中央ビル8階 TEL022-266-5650

問い合わせ 070-5323-1939 もしくは 070-5326-1974

◆スケジュール◆

- ① 11:00 「白痴」上映
- 14:00 白井佳夫講演
- ② 15:30 「白痴」上映

*** 前売券 300円 ***

桜井薬局セントラルホールで前売券発売中